

つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE
事業報告書
2018

～全国に広がる感謝の輪～



LOVE
BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

LOVE BLUE 事務局

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ～地球の未来を～」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるのすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいりたいと考えています。

「LOVE BLUE ～地球の未来を～」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を3つの優先事項とし活動してまいります。

LOVE BLUE 事業報告書 2018

～ 全国に広がる感謝の輪～



- ・ LOVE BLUE TOPICS
- ・ 水中清掃
- ・ 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成
- ・ 専門機関と連携した放流
- ・ 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

巻末 松下和夫 京都大学名誉教授
日本の釣り文化の醸成と LOVE BLUE 事業の役割
公式 FACE BOOK・公式ホームページのご案内

未来へ残したい美しい地球の つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

ア

(株)ア・ネットコトブキヤ
 (有)アイビーライン
 (株)アイビック
 アキレス(株)
 (有)アクティブ
 アサヒレジャー (株)
 アチック
 (株)アピア
 (株)アムズデザイン
 (有)アリゲーター技研
 (株)アングラーズ
 アングラーズサポートシステム(株)
 アングラーズデザイン(株)
 (有)アングル
 (株)イシグロ
 (有)イシナダ釣工業
 五十鈴工業(株)
 (株)issei
 ING.co.,
 INFINITE SEEDS MAKERS(株)
 ヴァンフック(株)
 (株)ウイン インコーポレーテッド, ジャパン
 (株)ウイング
 植田漁具(株)
 (株)ウォーターハウス
 (有)ウォーターランド
 (株)魚矢
 (株)宇崎日新
 ウチダトレーディング・モリックスジャパン
 (株)エイチ・エー・エル
 (株)エイテック
 (株)ESTATE
 (株)エバーグリーンインターナショナル
 エフ・ケイ
 (有)エムワントレーディング
 オウルジーンズ
 (有)オー・エス・ピー
 OSGS
 (株)オーナーばり
 (株)オーパデザイン
 (株)オオモリ
 (有)オジーズ
 (株)小野由
 (有)オフィス・ユーカリ

(株)オフィスアクセル
 (株)オリムピック
 (株)オンスタックル

カ

(株)鶴祥
 景山産業(株)
 (株)カズマーク
 (株)カツイチ
 (有)加藤精工
 カハラジャパン(株)
 (有)カビイ
 (株)がまかつ
 (有)カラズインターナショナル
 (株)川せみ針
 (有)ガンクラフト
 (有)関門工業
 (株)キサカ
 (株)キサクラ
 (株)KILLER HEAT
 (株)クリーブラッツ
 (株)Grayhound
 クレハ合織(株)
 グローブライド(株)
 (株)ケイテック
 (株)ゲインコーポレーション
 (株)ケーター関東
 ゲーリーインターナショナル(株)
 (株)KIOB
 ケンインターナショナル(株)
 (株)剛樹
 興和(株)
 (株)ゴーセン
 (一社)KONI
 (株)コヒナタ

サ

(株)34
 (有)財津釣具
 (有)サウスウインド
 栄通商(株)
 櫻井釣漁具(株)
 (株)ささめ針
 (株)ザップ
 (有)サニー商事
 サポートエンジニアリング フラー
 サンヨーナイロン(株)

(株)サンライン
 (株)ジークラック
 (株)シーフロアコントロール
 (株)シマノ
 (株)清水
 (株)下田漁具
 (株)ジャクソン
 (株)ジャッカル
 NPO法人 ジャパンゲームフィッシュ協会
 (株)ジャンプライズ
 (株)上州屋
 (株)スーパー・ビー
 skillful
 (株)スズミエンタープライズ
 スタジオディーピーアイ(株)
 スタンキーパー (株)
 スティールハント
 (株)スナガ
 (株)スポーツライフプラネット
 (株)スミス
 征興産業(株)
 (株)清光商店
 (株)ゼニス
 (株)ゼファーボート
 (株)双進

タ

第一精工(株)
 大同(株)
 大同石油(株)
 ダイトウブク(株)
 太陽産業(株)
 (株)ダイレイ
 タカ産業(株)
 高階救命器具(株)
 (株)タカタ
 (株)タカミヤ
 (株)タックルハウス
 (株)達人
 谷山商事(株)
 タブリエ・コミュニケーションズ(株)
 (株)ダミキジャパン
 (株)ダン
 痴虫
 中央漁具(株)
 (株)津田商会

ために 今 私たちは行動します

257社・団体参加(2019年3月31日現在 50音順)

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------|
| (株)ツネミ | ピュア・フィッシング・ジャパン(株) | (株)もりげん |
| つりー(株) | 兵庫通商(株) | moriken speed bite |
| (株)釣研 | (有)ヒロカコーポレーション | ヤ |
| (株)釣りビジョン | 琵琶湖遊漁船業協会 | (株)ヤマイ |
| (株)つり人社 | FIELD BACK | 山田電器工業(株) |
| (株)DRT | フィッシュ・アンド・ハート(株) | 山豊テグス(株) |
| T.H. タックル | Fishman(株)アレア | 山本光学(株) |
| D-CLAW | プエブロ(株) | (株)ヤマリア |
| (株)DSTYLE | (株)フォレスト | (株)ヤリエ |
| (株)ディーパース・ファクトリー | FOLLOW | ユニチカ(株) |
| TICA JAPAN (株) | 富士工業(株) | (有)よつあみ |
| (株)ティムコ | 富士灯器(株) | ラ |
| (株)テクノス | (株)フジノライン | (株)ラインシステム |
| (株)デプス | (株)フジワラ | (有)ラガチャイナ |
| (株)デュオ | (株)藤原辰次商店 | 落花生 |
| (株)天龍 | (株)ブリーデン | (株)ラッキークラフト |
| (株)トアルソン | ブルーブルー(株) | Rattytwister |
| (株)トゥームストーン | フルシロプロダクトデザイン | ラパラ・ジャパン(株) |
| 東邦産業(株) | (株)ブレイズアイ | REALS |
| 東レ・モノフィラメント(株) | プロズワン | (株)リガーレ |
| (有)トオヤ | (株)プロックス | (株)リコーサーバンス |
| (株)土肥富 | ベイトブレス | (株)リチャーズ |
| (株)TRYALL | BeveL | リップラップ |
| DRANCKRAZY(株) | (株)ベルメント | リトルジャック(株) |
| DreemUP | (株)北摂マリン | (有)リトルプレゼンツ |
| ナ | Bottomup(株) | (株)リプレイ |
| (株)内外出版社 | BOREAS | リミット |
| (株)ナカジマ | (株)ボンバダアグア | lure angle HAMA |
| ニッコー化成(株) | マ | ルアーショップ アンドウ |
| (株)NOIKE | (株)マガジン・マガジン | + Rooms' |
| ハ | マルキュー(株) | (株)ルミカ |
| (株)パームス | 丸米商事(株) | RAID JAPAN(株) |
| (株)ハイテックポート | (株)マルシン漁具 | (株)レイン |
| ハイドアップ(有) | MARUTE | LEGAME |
| バスディ(株) | (株)まるふじ | レジットデザイン(株) |
| (株)バスディジャパン | mibro | LESS is MORE |
| (株)林釣漁具製作所 | (株)ミヤマエ | (有)ロデオクラフト |
| (株)ハヤブサ | (株)ムカイフィッシング | ワ |
| はり秀(株) | (株)名光通信社 | (株)ワールドスポーツ |
| (株)ハリミツ | 明邦化学工業(株) | WILDFINS |
| (有)HMKL | (有)メガテック | (株)脇漁具製作所 |
| HAND MADE LURE HIRO | メガバス(株) | (株)和田製作所 |
| (株)ビーエムオージャパン | メジャークラフト(株) | (株)ワトスワクトリー |
| ビジュアライズイメージ(株) | (株)目探 | |
| ヒットコンポジット(株) | (株)モーリス | |



2013年4月 事業開始「環境・美化マーク」



2015年9月 徳島県の小学校で環境教育授業を実施



2015年4月
地球環境基金企業協働プロジェクト第1号
水辺の環境保全を担うNPO等助成開始



2016年4月 千葉県南房総市 石井裕 市長を表敬訪問
左：石井裕 市長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2015年6月 エコライフ・フェア2015 望月義夫 環境大臣ブース来訪
中央：望月義夫 環境大臣(当時)
左：当工業会 大村一仁 副会長 右：当工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2016年5月
G7 伊勢志摩サミットと連携



2015年6月
環境大臣より感謝状を頂く
右：環境省 小林正明
事務次官(当時)
左：小島忠雄
LOVE BLUE 委員長



2016年5月
三重県鳥羽市
木田久主一 市長を
表敬訪問
左：木田久主一 市長(当時)
右：当工業会 島野谷三 会長



2015年7月 茨城県酒沼のラムサール条約登録に貢献



2016年6月 エコライフ・フェア2016 丸川珠代 環境大臣ブース来訪
中央：丸川珠代 環境大臣(当時) 左：大村一仁 副会長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2016年7月
第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～と連携



2017年9月
徳島県の小学校で環境教育授業を実施



2017年1月 環境省 小林正明 事務次官を表敬訪問
中央：小林正明 事務次官(当時) 左から松下和夫 京都大学名誉教授、大村一仁 副会長、島野容三 会長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2018年9月
当工業会の島野容三 会長、大村一仁 副会長、加藤誠司 副会長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長が、大井川和彦 茨城県知事を表敬訪問。



2017年5月
茨城県龍ヶ崎市 中山一生 市長を表敬訪問
左：中山一生 市長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長

茨城県牛久沼
水中クリーンアップ活動



2018年10月
「第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦2018」にて、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長が講演。



2017年6月
エコライフ・フェア2017
関芳弘環境副大臣
ブース来訪

左：関芳弘
環境副大臣(当時)
右：小島忠雄
LOVE BLUE 委員長



2018年12月
山形県鶴岡市・三瀬保育園にて、クロダイ放流体験を通じた劇「LOVE BLUE ～クロダイのこども達の冒険」を実施。



2017年9月
第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～と連携



Japan Fishing Show 2019 in YOKOHAMAにて放流式典を開催

2019年のジャパンフィッシングショーでは、釣り界全体で取り組むLOVE BLUE事業を広く一般にご紹介するため、(一社)日本釣用品工業会 島野容三 会長並びに(公財)日本釣振興会 高宮俊諦 会長をはじめご来賓の皆様や未来を担う子供たちと共に、放流式典を実施致しました。



ジャパンフィッシングショーの会場である神奈川県横浜市のパシフィコ横浜に隣接する臨港パーク及び、本牧海づり施設に、合計5,000尾のカサゴを放流しました。



政府主催「海の日行事“海と日本プロジェクト”」 総合開会式に正式招待



社会貢献事業として進める LOVE BLUE 事業として、「海の日」を記念する行事「海と日本プロジェクト」の式典・祝賀会へ、当工業会が招待を頂きました。

主催者である内閣府総合海洋政策本部や国土交通省、(公財)日本財団からの挨拶があり、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長らが出席。国土交通省海事行政関係者や政府関係者の皆様へ、今後の関係性の深化を図る為、本事業の事業報告を行って参りました。

左から 内閣府総合海洋政策推進事務局 羽生一郎局長(当時)、国土交通省海事局 蒲生篤実局長(当時)、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、国土交通省 大臣官房技術審議官(当時)。



大井川和彦 茨城県知事 表敬訪問

2013年度より継続する霞ヶ浦や涸沼を始めとした県下での水中クリーンアップ活動や内水面釣場拡大（ワカサギ）での霞ヶ浦漁業協同組合の採択、第17回世界湖沼会議（霞ヶ浦）における連携等について報告及び御礼の訪問。知事からは「環境保全への取り組み、素晴らしいです。茨城県の為に、本当にありがとうございます！」とお礼の言葉を賜りました。



左から、柿沼清英 理事、加藤誠司 副会長、島野容三 会長、大井川和彦 知事、大村一仁 副会長、小島忠雄 顧問。

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018：10/15～10/19）の開催を前に、釣り界が取り組む、LOVE BLUE事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議でのLOVE BLUE事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内でのLOVE BLUE事業の推進をお伝えするため、（一社）日本釣用品工業会の代表が、大井川和彦 茨城県知事へ表敬訪問致しました。

大井川和彦 茨城県知事 表敬訪問

出席：島野容三 会長 / 大村一仁 副会長 /
加藤誠司 副会長 / 小島忠雄 顧問 / 柿沼清英 理事

2018年9月28日(金) 茨城県庁



島野容三 会長から「お陰様で、2013年の事業開始から今年度まで、釣り人や釣用品メーカー等のご協力を得て、自主財源で取り組む、LOVE BLUE 事業は、茨城県下でも、計53日間、全国では700日以上の中水クリーンアップ活動を実施させて頂き、その間、清掃活動の場を頂いた茨城町の溜沼は、ラムサール条約登録湿地となり、また、各地の漁業者の方や、各自治体の市長からも、感謝の声をお寄せいただけるようになりました」との御礼とご報告があり、この他に、大村一仁 副会長、加藤誠司 副会長、小島忠雄 顧問からも、第17回世界湖沼会議への御礼や、水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）に関するご報告などもありました。

これを受け、大井川和彦 知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE 事業、水中クリーンアッ

プ活動、本当にありがとうございます。素晴らしい事業です！引き続き宜しくお願いします。」との御礼のお言葉をいただきました。さらに、霞ヶ浦の水質浄化や地域経済の発展など様々な話題で、終始和やかな懇談の場となりました。

また、表敬訪問の前後で、茨城県農林水産部漁政課、同部水産振興課、並びに、茨城県県民生活環境部環境対策課へも御礼のご挨拶に伺い、各課長より LOVE BLUE 事業への御礼のお言葉をいただきました！



LOVE BLUE 事業

水中クリーンアップ活動

「第17回世界湖沼会議 いばらき霞ヶ浦2018」との連携

事業開始より6年間、茨城県下で、県・市町村から要望をいただきながら、水中クリーンアップ活動を実施、ラムサール条約登録湿地となった涸沼（ひぬま）へも登録前から同活動を地元関係団体と連携しながら実施してきたことを背景に、「霞ヶ浦はもとより日本の湖沼環境保護へ取り組む団体として存在感を示す。」

「第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦2018」において、水辺の環境保全活動として、LOVE BLUE 事業を発表させていただく機会を賜り、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長が講演致しました。



小島忠雄 LOVE BLUE 委員長「茨城県下では、県や市町村、団体、漁業関係者等と連携しながら、霞ヶ浦や北浦、涸沼、牛久沼等で、6箇年累計 / 8市町村 / 20箇所 / 54日間の水中クリーンアップ活動を実施してまいりました。ご関係の皆様には、私達に活躍の場を与えていただき、大変感謝しております」とのご報告を、ご来場の皆様へいただきました。

第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018) への参画

2018年10月15日(月)~10月19日(金) 会場：つくば国際会議場他



世界湖沼会議の会期中、茨城県土浦市の土浦港において、世界中から集まった環境活動へ取り組む研究者の皆様に、LOVE BLUE 水中クリーンアップ活動をご覧いただきました。



1) 2018年10月13日(土)

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら
霞ヶ浦の水質浄化に取り組む関係団体の活動発表 LOVE BLUE 事業の活動報告 (10分間) や世界湖沼会議の記念誌へ活動報告内容を掲載。

2) 2018年10月17日(水)

第17回世界湖沼会議 エクスカーション
世界湖沼会議参加者の視察地である「湖水直接浄化施設 (土浦市土浦港)」で水中クリーンアップ活動を実施させていただき、LOVE BLUE 事業を広く紹介した。

環境省主催 エコライフ・フェアに出展

LOVE BLUE 事業は、毎年環境の日（6月5日）の近隣の土曜日及び日曜日に東京都渋谷区の代々木公園にて、環境省が主催する、エコライフ・フェアに2015年から毎年出展しています。環境への関心の高い来場者や、環境保全に取り組む企業や団体の皆様へ水辺の環境保全を志向する LOVE BLUE 事業が取り組む、社会貢献活動のPRを行い、また関係を構築しています。

本年度は、「つりの楽しさが広がることで水辺環境の向上につながります」をテーマに、これまでの社会貢献活動としての実績をPRしました。



渡嘉敷環境副大臣に LOVE BLUE 事業の説明を行いました。（2018年）



丸川環境大臣（当時）に環境への取り組みのメッセージを残して頂きました。（2016年）／中央：丸川珠代 環境大臣（当時） 左：大村一仁 当工業会 副会長 右：小島忠雄 当工業会 顧問

木田久主一 鳥羽市長を 島野容三会長が表敬訪問

2016年5月19日(木)10:00～ 三重県鳥羽市役所市長室

2016年5月19日、G7伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、島野容三会長が表敬訪問しました。

G7伊勢志摩サミットへ連なる LOVE BLUE 事業の「格」

島野会長（以下会長）：サミット前の大変お忙しい時期にお時間を頂きありがとうございます。

あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えて頂くことができまして、我々といたしましては、これまで LOVE BLUE 事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけて頂くことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。

釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長（以下市長）：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運び頂き、ありがとうございます。鳥羽は海女と真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにして頂いていることに心から感謝申し上げます。

市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。



鳥羽市 木田久主一市長と



環境省表敬訪問

LOVE BLUE 事業が取り組む社会貢献事業について、これまで積み重ねてきた実績等をご説明するため、2017年1月20日金曜日、環境省へ表敬訪問を行いました。



中央：小林正明環境事務次官、左から松下和夫京都大学名誉教授、大村一仁副会長、島野容三会長、小島忠雄顧問

島野会長より、「当初は釣り場の清掃から始めた事業ですが、今では LOVE BLUE 事業として、例えば全国の各自治体を通じて、各地の皆様からプロダイバーによる水中クリーンアップへのご要望をお寄せ頂けるようになるなど、多くの皆様に喜んで頂ける社会貢献事業となって参りました。昨年（2016年）の G7 伊勢志摩サミットでもプロダイバーによる水中クリーンアップ活動をお役立て頂くなど、様々なご要望にお応えしております。LOVE BLUE 事業は、参加企業が全ての釣用品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部を自主財源として取り組んでいるものです。これからも御省と連携しながら地球環境のためにより一層努めて参りたいと思います。」と当事業について説明を行いました。

環境保全活動に大きく貢献 環境大臣から感謝状

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の皆様一人一人の力を合わせて展開する LOVE BLUE 事業は、2015 年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地球環境基金 企業協働プロジェクト」の第 1 号「つり環境ビジョン助成」をスタートさせました。

この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行う NPO・NGO 等の団体に対し、その活動を支援する為の助成で、2015 年度は、全国 8 団体を支援しました。上記の事業を踏まえた、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である 6 月 5 日付にて、環境大臣より感謝状をだされ、そして 6 月 10 日（水）、LOVE BLUE 委員会小島忠雄委員長が代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長（当時）より授与されました。



環境省総合環境政策局 小林正明 局長（当時）と

全国に広がる感謝の輪

～水中クリーンアップ活動編～

私達、釣り人は、世界中の水辺から恩恵を授かっている社会の一員です。その豊かな水辺を守る活動の柱としての取り組みが、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動です。

LOVE BLUE では、全国を7ブロックに分け、公平性や透明性等を踏まえ、都道府県や市町村、港湾管理者、漁業者等の皆様からご要望を頂きながら実施しています。

効率の良い作業や安全性の為、プロダイバーが実施する水中クリーンアップ活動では、陸上スタッフと常時無線交信設備を装備しながら、万全の安全管理を徹底しながら作業しています。また、必要に応じて、法令に基づいた許可申請や周知等、地域のご関係先としっかりと連携しながら進捗し、回収したゴミは産業廃棄物として適切に処分しています。

プロバイダーによる水中クリーンアップ活動は、2013年度の事業開始より2018年度に至るまで、6年間累計32道府県195箇所766日実施しています。

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<中部・北陸地方：20日>			1	3	5	22.5	6	20	5	17	5	22	4	18
中部・北陸	愛知県	三河湖	1	3										
		入鹿池			1	5	1	5	1	5	1	3		
	富山県	六波寺海岸			1	4	1	3	1	3				
		黒部漁港									1	5	1	5
	石川県	名舟漁港			1	3.5	1	3						
		富来漁港			1	5	1	3	1	3				
		安宅漁港			1	5	1	3	1	3	1	5	1	5
	福井県	前波漁港					1	3	1	3				
		東尋坊・崎漁港									1	5	1	5
岐阜県	長良川									1	4			
	東大井川											1	3	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
<中国・四国地方：15日>			0	0	5	23	5	15	5	17	5	14	4	14	
中国・四国	香川県	松山漁港			1	5									
		土庄港					1	3							
		要望箇所													
	徳島県	那佐港			1	3									
		由岐漁港					1	3	1	3					
		日和佐港									1	3			
		椿泊漁港											1	4	
	愛媛県	佐田岬漁港			1	5	1	3	1	3					
		三机港			1	5	1	3	1	3	1	3			
		松山港(高浜地区)			1	5	1	3	1	3	1	2			
	鳥取県	九丁漁港												1	4
		境港							1	5					
	高知県	宇佐漁港									1	3	1	3	
		岡山県	牛窓港								1	3	1	3	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
<九州・沖縄地方：15日>			0	0	5	25	5	16	5	21	5	15	4	14	
九州・沖縄	佐賀県	唐津港			1	5	1	3							
		伊万里港			1	5			1	3	1	3			
	長崎県	館浦漁港			1	5	1	3							
		薄香湾漁港					1	2							
		生月漁港							1	3	1	3			
	熊本県	長崎港												1	4
		八代港			1	5	1	3							
	沖縄県	名護漁港			1	5	1	5	1	5	1	3	1	3	
		別府港							1	5					
	大分県	吹浦漁港									1	3	1	3	
		山川漁港							1	5					
	鹿児島県	枕崎漁港									1	3	1	4	

●石川県
・安宅漁港
(5月8日～12日)

●福井県
・崎漁港
(5月15日～19日)

●富山県
・黒部漁港
(6月12日～16日)

●滋賀県
・長命寺港
(10月19日～21日)
・海津漁港
(10月24日～28日)
・膳所港
(10月30日～11月3日)
・知内漁港
(11月6日～9日)
・沖島漁港
(11月11日～13日)
・瀬田丹溜
(11月14日～15日)

●岡山県
・牛窓港
(9月18日～20日)

●和歌山県
・戸坂漁港
(9月29日～10月3日)

●愛媛県
・九丁漁港
(9月7日～10日)

●京都府
・宮津港
(5月22日～26日)

●高知県
・宇佐漁港
(9月13日～15日)

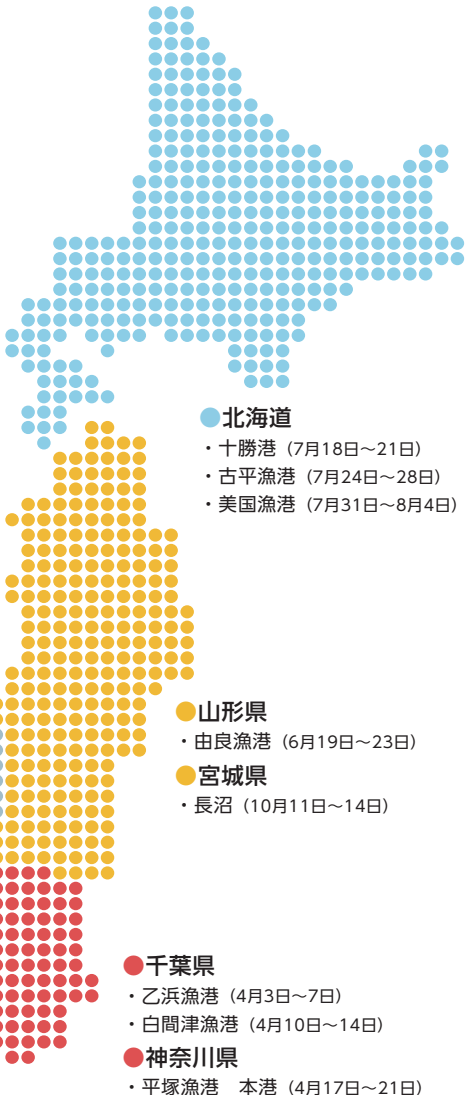
●長崎県
・長崎港
(8月27日～30日)

●大分県
・吹浦漁港
(9月2日～4日)

●鹿児島県
・枕崎漁港
(8月21日～24日)

●沖縄県
・名護漁港
(6月2日～4日)

プロダイバー水中クリーンアップ 活動地域マップ



●北海道

- ・十勝港 (7月18日~21日)
- ・古平漁港 (7月24日~28日)
- ・美国漁港 (7月31日~8月4日)

●山形県

- ・由良漁港 (6月19日~23日)

●宮城県

- ・長沼 (10月11日~14日)

●千葉県

- ・乙浜漁港 (4月3日~7日)
- ・白間津漁港 (4月10日~14日)

●神奈川県

- ・平塚漁港 本港 (4月17日~21日)
- ・大磯港 (4月24日~28日)

●岐阜県

- ・東大江川 (10月6日~8日)

●茨城県

- ・牛久沼 (6月26日~30日)
- ・涸沼 (7月14日)
- ・霞ヶ浦 土浦港 (10月17日)
- ・稲敷市 小野川 (3月3日)

●栃木県

- ・東古屋湖 (7月3日~7日)

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<北海道:15日>			0	0	3	15	3	15	4	15	4	15	3	14
北海道	道央	小樽港			1	5	1	5						
		浜益漁港							1	3				
		濃意漁港							1	2				
		厚田漁港			1	5	1	5	1	5	1	5		
		浜益地区(幌漁港)									1	2		
		浜益地区(群別漁港)									1	3		
		古平漁港												1
	美国漁港												1	5
道東	道東十勝港北区			1	5	1	5	1	5	1	5	1	4	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
<東北地方:10日>			0	0	7	24	4	14	3	15	3	10	2	9	
東北	岩手県	岩洞湖			1	2									
		能代港			1	5									
		米代川			1	1	1	1							
	山形県	酒田港			1	4.5	1	5							
		加茂港			1	3.5									
		鼠ヶ関港			1	4.5	1	3	1	5	1	4			
	宮城県	由良漁港												1	5
		仙台塩釜港			1	3.5	1	5	1	5					
青森県	長沼									1	3	1	4		
	三沢市 高瀬川放水路								1	5	1	3			

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度			
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日		
<関東地方:35日>			2	9	9	27	9	35	8	32	8	36	9	33		
関東	群馬県	榛名湖	1	5	1	5										
		東古屋湖												1	5	
	栃木県	土浦市(霞ヶ浦)	1	4	1	1										
		美浦村(霞ヶ浦)			1	4	1	3								
		阿見町(霞ヶ浦)			1	3	1	5								
		かすみがうら市(霞ヶ浦)					1	1								
		土浦市(霞ヶ浦大岩田船溜)							1	1	1	1	1	1	1	
	茨城県	茨城町(涸沼)			1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
		土浦市土浦港(霞ヶ浦)												1	1	
		鹿嶋市(北浦 額賀船溜)									1	5				
		龍ヶ崎市(牛久沼)					1	4	1	5						
		牛久市(牛久沼)									1	5	1	5	1	5
	千葉県	稲敷市(霞ヶ浦)												1	1	
		興津港			1	1										
		野島漁港			1	1										
		富浦漁港			1	5	1	5	1	5	1	5				
		乙浜漁港			1	5	1	5	1	5	1	5			1	5
	神奈川県	白間津漁港												1	5	
		茅ヶ崎漁港					1	5	1	5	1	5				
		平塚漁港 本港					1	5	1	5	1	5	1	5	1	5
片瀬漁港									1	5	1	5	1	5	1	5
大磯港											1	5	1	5	1	5

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度			
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日		
<近畿地方:35日>			1	5	7	31.5	7	35	7	33	10	37	8	32		
近畿	滋賀県	吉川港(琵琶湖)	1	5												
		早崎漁港(琵琶湖)			1	1.5										
		八木浜漁港(琵琶湖)			1	2										
		南浜漁港(琵琶湖)			1	5										
		朝妻港(琵琶湖)			1	3										
		能登川漁港(琵琶湖)			1	5										
		木浜漁港(琵琶湖)			1	5							1	5		
		北山田漁港(琵琶湖)					1	5					1	5		
		知内漁港(琵琶湖)					1	5							1	4
		志那漁港(琵琶湖)					1	5								
		堅田漁港(琵琶湖)					1	5				1	5			
		長命寺漁港(琵琶湖)					1	5							1	3
		大溝漁港(琵琶湖)					1	5								
		宇曾川漁港(琵琶湖)								1	5					
		出在家舟溜(琵琶湖)								1	5					
		沖之島漁港(琵琶湖)								1	5				1	3
		牧舟溜(琵琶湖)								1	4					
		野村舟溜(琵琶湖)								1	4					
		針江川舟溜・新川舟溜(琵琶湖)										2	3			
		瀬田舟溜										1	4		1	2
	海津漁港												1	5		
	膳所港												1	5		
	三重県	鳥羽港			1	10	1	5	1	5						
		熊野 二木島港							1	5						
	京都府	尾鷲港									1	5				
		宮津港									1	5	1	5		
	和歌山県	戸坂漁港・シモツピアランド									2	5	1	5		

全国 **34** 箇所 **134** 日実施 (累計 **766** 日実施)

茨城県 涸沼

水中クリーンアップ活動は、地域の皆様と連携し、水辺の環境保全活動を推進してまいります。

2018年7月14日（土）、「平成30年度ひぬま流域クリーン作戦」と連携して、茨城町涸沼にて水中クリーンアップ活動を実施！



クリーンアップ
ひぬまネットワーク
谷萩八重子
会長

2015年に、貴重な湿地や固有種等が生息する場所として「ラムサール条約登録湿地」となった茨城県涸沼。例年、海の日前後に、流域市町が連携して実施している陸上清掃イベント「ひぬま流域クリーン作戦」では、クリーンアップひぬまネットワーク事務局よりご要望を頂き、LOVE BLUE事業の水中クリーンアップ活動も連携して実施しています。同ネットワーク・谷萩八重

子会長からは「私達では出来なかった水中の清掃をLOVE BLUE事業が取り組んでいただけたおかげで、涸沼はラムサール条約登録湿地となれました。また、陸上清掃の参加者が水中クリーンアップ活動を実際に拝見することで、より水辺を大切にする気持ちが大きくなるんです。本当に感謝しています。これからもよろしくお願ひします！」とのお言葉をいただきました。また、同湖を所管する大涸沼漁業協同組合の坂本勉組合長からも「漁業者として、とてもありがたい取り組みに感謝します。漁業者はみんな喜んでますよ。ありがとうございます！」と感謝のお言葉をいただきました。



大涸沼漁業協同組合の皆様が、水中クリーンアップ活動をご視察いただきました。

茨城県 霞ヶ浦

2019年3月3日(土)、「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携して、稲敷市小野川にて水中クリーンアップ活動を実施!

国内第2位の面積を持つ湖・霞ヶ浦。その流域24自治体が連携して取り組む陸上清掃イベント「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携し、水中クリーンアップ活動を実施致しました。主催者である「霞ヶ浦問題協議会」会長である中川清 土浦市長からは「いつも霞ヶ浦の水をキレイにする為に、水中クリーンアップ活動を実施していただき、ありがとうございます!」とお喜びの声をいただき、またイベントの開会式では小島忠雄 LOVE BLUE 委員長も来賓としてご招待いただく等、とても温

かくお迎えいただいています。イベントにご参加の皆様からも、水中クリーンアップ活動に高いご関心をお寄せいただき、「ダイバーの皆さん、頑張ってください!」と励ましのお言葉をいただきました。



中川清 霞ヶ浦問題協議会 会長(土浦市長・右)と談笑する、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長。



左から、中川清 土浦市長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、寛信太郎 稲敷市長、チャレンジいばらき県民運動 幡谷浩史 理事長



全国に広がる感謝の輪

～地球環境基金 企業協働プロジェクト編～

LOVE BLUE 助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金とは

環境庁（現・環境省）が中心となって、民間団体（NGO・NPO）による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993年5月に創設されました。

1993年度から2018年度までに延べ5065件、総額167億円の助成を行うなど、NGO・NPO等が行う環境保全活動を積極的に支援しています。

地球環境基金企業協働プロジェクト・ LOVE BLUE 助成とは

地球環境基金が行う支援活動の中で、特定の活動に対して支援したい寄付者の「想い」を反映させたプログラムです。地球環境基金のビジョン・ミッションの範囲の中で、助成対象・分野・金額に独自性があり、先行などには、寄付者の「想い」が反映されます。

LOVE BLUE 助成は、（一社）日本釣用品工業会より寄付された資金によるものであり、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっております。

LOVE BLUE助成団体

2015年度	
香川県	NPO アーキペラゴ
群馬県	NPO 浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO 荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPO いびがわみずみずエコステーション
香川県	海守さめき会
東京都	（一社）JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2016年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわみずみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2017年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわみずみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	（一社）ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

2018年度	
沖縄県	美ら海振興会
島根県	NPO アンダンテ 21
鹿児島県	くすの木自然館
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
兵庫県	神戸海さくら
熊本県	次世代のためにがんばる会
東京都	全国川ごみネットワーク
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	（一社）ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

ジャパンフィッシングショー 2019 in YOKOHAMA の活動報告会にて

NPO 法人 アンダンテ 21 LOVE BLUE 助成によって活動の幅が 広がり、ベースである人間関係が 広がりました。

齋藤遼さん：LOVE BLUE 助成では3年間、お世話になっておまして、本当にありがとうございました！ 私達が活動を始めた当初は、正直なところ、周りの人達から「ゴミ拾いを好きな人がやってる」ぐらいに見られていたところがあります。しかし、事業を継続していくことで、一緒に活動していただける人が広がってきました。というのも、元々、私達は川の環境保全活動からスタートしています。水辺をキレイにするには、山から川、そして海と活動のステージを広げてきたのですが、これは LOVE BLUE 助成の支えられて勧められたことなんです。この活動が広げられたことはとても大きな成果の一つであるんですが、これによってご関係先である行政の各部局の方や、内水面、そして海面までの漁業者皆さん等、人と人とのつながりがとても広がっていったんです。これは私達の団体にとって何よりもの財産で、未来につながる事と感謝しています。これまで LOVE BLUE 助成とのお付き合いは今年度で一旦、終了となりますが、この3年間で実践出来た活動のデータは、間違いなく、とても大きく役立つ物になります。



アンダンテ 21 齋藤遼さん

引き続き、活動を継続していきますので、宜しくお願い致します。

神戸海さくら

LOVE BLUE 助成を受けて、ビーチの環境認証「ブルーフラッグ」を獲得しました！

理事長 森口智聡さん：私達が活動する兵庫県神戸市の須磨海岸は、長年、ビーチに残されるゴミ問題に悩まされてきました。まずは汚れたビーチをキレイにすることで、新たにゴミを捨てにくい環境を作り、継続してビーチクリーンが行えるよう、楽しみながらゴミ拾いが行えるプログラムを構築。その結果、ビーチの環境認証「ブルーフラッグ」を獲得出来ました。この継続的にビーチクリーンを行うための下支えをしているのが LOVE BLUE 助成です。いつまでの美しい須磨海岸をキープ出来るよう、これからも活動を継続していきます。



理事長 森口智聡さん(左) 森口祐依さん(右)

ふくおか FUN

ダイバーとして海を守る活動を LOVE BLUE 助成に支えていただき、より大きく広がりました！

大神弘太郎代表理事：私達はダイバーが集まっ

て海を守る活動をしています。そして私達は、LOVE BLUE 助成に支えられたことで、活動の幅が大きく広がりました。何よりもステークホルダーの皆様には感謝したいのは、子供たちを中心として行っている、もっと海を知ってもらう活動の幅が大きく広がったことです。釣り人の皆さんも良くご存知の通り、海の中には実に色々な生き物が生息しています。彼らを知ることで、海を大切に思う気持ち、水辺をキレイにする気持ちを育んでもらっています。LOVE BLUE 助成を通じて、活動の幅が広がったことで、人のつながりもとても大きくなりましたし、何より私達の団体のスタッフもスキルアップしています。これは本当にありがたいことなんです。釣り人とダイバーが力を合わせるとこんなことが出来るんだ、って可能性に、もっともっと挑戦していきます！



代表理事 大神弘太郎さん

NPO 法人 くすの木自然館

干潟から始まった水辺を守る活動は、LOVE BLUE 助成を通じて、海から川まで活動の場が大きく広がりました！

小野田剛 専門研究員：エコツアーや環境学習を通じて、鹿児島県錦江湾に広がる干潟を中心とした活動を展開しています。これまでは、干潟を通じた海が活動の場となっていました。LOVE BLUE 助成によって活動の幅を広げることが出来、海から川までが私達の活動の場となりました！ これによってより充実した環境学習やエ

コツアーを行うことが出来るようになり、ご参加される皆さんと地域作りに取り組んでいきたいと思っています！



専門研究員 小野田剛さん

次世代のためにがんばる会

熊本県八代を舞台に、次世代の子供たちが健康で安全な生活が送れるように願いを込めて活動しています！

松浦ゆかりさん：九州を代表する清流・球磨川が海へと流れ込む八代を舞台に、浜辺や河川の環境保全活動や子どもゴミパトロール、カキ殻による河川浄化、環境学習会等を行っています。私達の活動の特徴としては、「学・官・民のトライアングル」で成り立っているんです。その為、運営が充実したものとなっています。とはいえ、活動を継続していく為には、何かと費用も増えていくのですが、LOVE BLUE 助成のおかげで、よりしっかりとした運営が出来るようになりました。こうした地域の活動を継続していけるの



代表 松浦ゆかりさん

も、本事業のおかげと大変感謝しております。また、私達の団体は国土交通省の河川協力団体に指定されているのですが、その表彰式の席で、同じく LOVE BLUE 助成を受けている「荒川クリーンエイド」さんとご一緒しまして、「同じ LOVE BLUE 助成を受けてますね！」って（笑）。こういった、異なる地域で同様の活動をする皆さんとご縁をいただけたことも、LOVE BLUE 助成のおかげなんです。この度は本当に、ありがとうございました！

全国川ごみネットワーク

川は誰もが癒される憩の場。その川の状態を知ることで日常の生活から見直すきっかけが生まれます！

伊藤浩子さん:川って、とてもものんびりしていて、誰もが癒される場所なんですよ。でも良く見ると、残念ながら様々なゴミが落ちていて、長年活動していても中々減らない現状もあります。私達も活動を通じてとても強く感じることは、「川は気付きの場所」ということ。川のゴミだけでなく、川へゴミが至る前、町の中や普段の生活から考えていかないといけない。そういう「気付きの場所」でもあるんです。LOVE BLUE 助成を通じて、活動の幅が広がったことはとても感謝していますし、他の団体の皆さんともつながることが出来ました。こういった縁をいただけたことは、本当にありがたいです！



伊藤浩子さん（右）

グリーンパートナーおかやま 釣り人の皆様が私達の活動を 支えてくれていると実感しています！

藤原瑠美子さん: LOVE BLUE 助成をいただき、ジャパンフィッシングショーで活動報告をさせていただいて、会場で応援してもらったり声を掛けてもらえたり、非常に温かいご支援をいただいています。ご支援いただいている皆さんと直接触れ合える機会は他にありません。釣りをされる皆さんにとって海ゴミは非常に関心のあるものだと思います。LOVE BLUE 助成は、非常に多くの皆さんに喜ばれていると思います。多くの自治体や団体とつながりを持つことが出来、スムーズで深い活動、そして多くの事業を行うことが出来るようになりました。今後は、さらに県内の市町村等の担当者とさらに深く進めていきたい。ゴミに関する課題は、みんなの課題。未来に希望・夢を持っていく。このような思いを皆さんに共有してもらい活動を飛躍させていきたいと思っています。



伊藤浩子さん（右）

島根県

NPO

アンダンテ 21

協働と次世代育成をめざした
益田市水環境保全プロジェクト

島根県益田市の海岸線を舞台に、協働と次世代育成をめざした水環境保全活動を実施しています。清掃活動と自然・環境教育を統一させた野外イベントを学校や地元組織とともに開催、さらに小学校等での環境教育や教員への研修会等を行いながら、地域の水環境保全のプレイヤーとなる次世代の育成に取り組んでいます。



当法人は益田市を流れる「高津川」を中心とした水環境保全とまちづくり活動を行ってまいりましたが、LOVE BLUE 助成のおかげでその活動範囲を海を含む多くのエリアに拡大すること



理事長 渡邊 勝美さん

が出来ました。また、資金源の問題があった小学校等での環境教育にも積極的に取り組むことができるようになり、当地の環境保全を担うひとつづくりが進んでいます。

鹿児島県

NPO

くすの木自然館

鹿児島湾奥地域における
湿地帯保全活動

私たちは、住民への生活環境に対する啓発の一環として、地域住民および行政と協働で、各4回の清掃活動及び活動後の啓発講座を実施します。清掃活動でゴミの量がどのように変化するかを調べるとともに、環境指標として生物調査を毎月行い、生物相の変化をモニタリングしています。また、その結果をフィードバックすると共に、適切な不法投棄対策を実施することを目的に、年2回の懇話会を実施します。



これまではあまり行政の手が届き辛かったエリアの清掃活動を、幅広い利害関係者（ステークホルダー）を巻き込んで行っていることで、湾奥湿地の保全活動に繋がられています。



専門研究員 小野田 剛さん

また、以前はあまり行えていなかった、春季の生物調査ができたことで、鹿児島湾奥の湿地帯の生物相を、より詳細に把握することが出来ています。

岡山県

NPO

グリーンパートナー
おかやま海ごみから流域環境を考える
プロジェクト

海ごみやマイクロプラスチックの問題を啓発するために、『世界の宝石～瀬戸内海』を磨くシンポジウム」を開催しました。
また、底引き網漁船でごみを引き揚げ「見える化」しワークショップで考える体験学習「海底探検隊 2018」や川ごみ調査「川ごみ探偵団」、河川敷の「クリーンアップ大作戦」を行いました。



LOVE BLUE 助成をいただいたことによって、シンポジウム・底曳網体験学習など「山～川～海」をつなぐ一連の啓発事業を行うことが出来ました。このため多くの皆様に「海ごみ問題」「マイクロプラスチック問題」を身近なこととして実感していただきました。助成を通じて支えてくださった全国の釣り愛好家の皆様、釣り用品関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



理事長 藤原 瑠美子さん

山形県

NPO

公益のふるさと創り
鶴岡

鶴岡市内川流域の繁茂した藻刈りを市民参加型で実施する体制構築プロジェクト

鶴岡市内を流れる内川にて、夏の間繁茂する藻を刈る作業と川底に滞積するゴミの清掃活動を行うボランティア活動を行いました。また、子どもたち向けの魚類調査や舟下りなどの啓蒙活動も行い、市民参加型で内川の環境保全活動を促進しました。



内川の藻刈りは専門にやっていたおじいさんが一人で行っていましたが、5年前にお亡くなりになりました。その後、当団体が支援しながら細々と行ってきましたが、この LOVE BLUE 助成を受けることによって市民活動プロジェクトを立ち上げ、内川の環境保全活動の底上げが可能となりました。



代表理事 風間 富士子さん

兵庫県

NPO

神戸海さくら

須磨海岸における地域住民および海岸利用者の参加型
清掃活動とマナー意識向上による持続的な環境保全活動

私たちは、都市部にある数少ない自然海岸である須磨海岸の環境保全と海岸利用者のマナー意識向上を目的として、ビーチクリーン活動やゴミステーションの設置、環境セミナーの開催等を行っています。ゴミのポイ捨て防止を呼び掛け、海岸を利用する全ての人が環境保全に向け協力できる参加型の社会を目指す仕組み作りに取り組みました。



私たちボランティアがゴミステーションの管理やゴミの分別収集を呼び掛ける役割を担うことで、行政と協力して須磨海岸でのゴミ箱設置が実現しました。また、



理事長 森口 智聡さん

水族園園長による環境セミナーの開催や、ライフセーバーと小学生とで行う合同ビーチクリーン活動など環境学習にも取り組むことができました。

熊本県

次世代のためにがんばる会

八代海河川・浜辺の大そうじ大会と
干潟保全に向けた青少年ワークショップ

八代海、球磨川の環境保全及びラムサール条約登録に向けた活動を展開。そのための学習教材の作成。多くの活動は市内の高校・高専(計9校)にも参加を呼びかけ、特に八代海河川・浜辺の大そうじ大会については、官学民産協働により約450名が参加。来春年頭には大そうじ大会に参加された学生を対象に青少年ワークショップを開催。



熊本県の八代海と球磨川の環境保護、高校生を中心とした青少年の環境学習(意識改革)を目的に始めた「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」が官・民・学・産の行動体制で14年間続いてい



代表 松浦 ゆかりさん

ます。回収したごみの種類等から誰が捨てたのかを調査する「子どもごみパトロール隊」など、子供の目線で考え、「ごみを捨てることでごみを捨てない人づくり」が進んでいます。

東京都

全国川ごみネットワーク

水辺のごみ削減学習プログラムの構築と実践

小学校で5, 6年生の環境学習の授業として水辺のごみ削減に取り組みました。事前授業でごみによる影響を学び、実際に湖での清掃活動を行いました。事後授業では、ごみを減らすためにできることを考え、子どもたちがイベントに参加し発表しました。先生向けの研修会も開催し、継続できるよう取り組んでいます。



子どもたちが、諏訪湖のごみの元は、生活から出ているものが多いことに気づき、保護者と一緒にごみを減らすために自分たちができることを考えることがで



座長 亀山 久雄さん

きました。水辺のごみ拾いを行うことで、ごみの発生源を考え、水辺のごみを減らすためにできることを学べる場とすることができました。

沖縄県

NPO

美ら海振興会

慶良間諸島チービシエリアのサンゴ礁再生環境づくりプロジェクト

美ら海振興会は、沖縄の海が本来の姿を取り戻すために、今年度は主に水中のタイヤ等を回収する「水中清掃」や「水中駆除」として、サンゴを捕食するオニヒトデやレイシガイダマシ類等の駆除を行っています。また、救命講習や環境教育をダイビング事業者や修学旅行生、大学生に実施しています。



危険を伴う水中での作業を経験と技術を持ったダイバーが行い、サンゴを捕食する生き物をたくさん駆除することができました。また、その結果をホームページ



会長 松井 さとしさん

等で報告することにより、ダイバーでない方や、遠方に住んでいる方にも沖縄の海について知ってもらうことができたと思います。

石川県

NPO

能登半島
おらっちゃんの里山里海

能登の“里海”文化の継承と保全

私たちは活動のテーマに、里海を「知る」、里海を「守る」、里海を「楽しむ」の3つをあげています。「知る」活動では、海岸清掃活動でのモニタリング調査やお魚ワークショップ、「守る」活動では、里海クリーンビーチと里山森づくり運動、「楽しむ」活動では、渚遊びや釣り大会などを実施しています。



多くの市民や子供たちに“里海”と関わることの重要性とその魅力を伝えることができました。とくに校区内に海がない小学校も含めた海岸清掃活動では、小学校との連携を強めるこ



理事長 加藤 秀夫さん

とことができました。里山の森づくり運動には100名が参加し、釣り大会も回を重ねるごとに参加親子が増え、私たちの活動は少しずつ市民権を得ているように感じます。

福岡県

(一社) ふくおか FUN

福岡の海における生物多様性
および水中環境保全のための活動

スキューバダイバーが中心となり、子供向けスノーケリング体験や、海をきれいにする海草「アマモ」の水中観察・植付けのほか、県内各地での授業や写真・映像展を実施し、水中の生物多様性や海底ごみ問題について幅広い世代に伝えることで、福岡に住む人々の持続的かつ自発的な行動に繋げました。



体験型のイベントや写真展の開催により、都市部の海への市民の多様な関わり方を生み出すことができ、参加者の水中環境への意識が向上しました。また、博



代表理事 大神 弘太郎さん

多湾を中心とする福岡の海での活動実績が評価され、これまで以上に行政や企業、漁業者、他NPO等と連携した事業が生まれました。

山 梨 県

NPO

未来の荒川をつくる会

名勝・昇仙峡から甲府市を縦貫する
荒川とその支流の河川清掃

毎月第1日曜日の早朝約2時間、荒川と支流合計11か所で河川清掃を実施。参加者は毎回平均100人強で、2トン車2～4台分のごみ等を回収し、土手や河川敷の雑草除去も並行して行ないました。



胴長靴等清掃用具が充実したほか、傷害保険に加入するなど活動環境を整備することができました。活動は高い評価を得ており、やまなし環境財団から助成金を支給されているほか、首都圏山梨県人会から表彰もされています。



会長 飯野 正久さん

長 崎 県

やったろう de 高島

珊瑚ツーリズムの創造

海浜、海中の清掃活動：地域小中学生、教職員、父兄と実施。

啓蒙活動：小学生対象ツアー、大学生、留学生、修学旅行生を対象に実施。

珊瑚復元活動：専門家を招聘し生息するイシサンゴ類の特定を行ないました。

また活動指針となる研修会を実施しました。



地域の漁協と連携を構築していく過程で「LOVE BLUE 助成」を受けている事が、当団体の信頼度向上につながりました。

啓蒙活動および環境出前講座等で講演する際に、海に特化した環境保全活動との理解を得るのが容易となりました。



事務局長 小村 秀蔵さん

専門機関と連携した放流

～放流事業の全国展開へ～

第4回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議 LOVE BLUE 専門機関と連携した放流事業へご協力を依頼



釣り人の皆様からの浄財を適正に事業推進する枠組み
専門機関と連携した放流事業の全国展開
～（公財）神奈川県栽培漁業協会との放流実績から～

栽培漁業協会中央団体
公益社団法人 全国豊かな海づくり協会
（旧）全国栽培漁業協会

第3回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議
平成29年度栽培漁業推進全国会議

都道府県水産担当者
（栽培漁業）
『栽培基本計画策定』

都道府県 栽培漁業協会
『種苗生産施設』

各地での栽培魚種の中から、釣り人に喜ばれる魚種の放流

教育機関との連携

2018年10月4日（木）に実施された山形県鶴岡市でのクロダイ放流事業をお手伝いいただいたことをご縁に、鶴岡市三瀬保育園（さんぜほいくえん）の「平成30年度クリスマス発表会」にて、年中組の園児の皆さんがクロダイ放流体験を題材とした劇「LOVE BLUE ～クロダイのこども達の冒険」を実施していただきました。



山形県鶴岡市 三瀬保育園・平成30年度クリスマス発表会劇「LOVE BLUE ～クロダイのこども達の冒険」



専門機関と連携した放流

LOVEBLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、今年度から各地の専門機関との連携へと広がっています。

青森県 ヒラメ16.4万尾



山形県 クロダイ1.5万尾



2018年度 4県3魚種38.8万尾

累計 6年間 9ヶ所 138.8万尾

神奈川県 マダイ10万尾



鹿児島県 マダイ10.9万尾



水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～内水面釣り場拡大(ワカサギ)は、2018 年度は7団体を採択～

水産庁ご後援の元、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターや、全国内水面漁業協同組合連合会から、LOVE BLUE 事業へご理解とご協力を頂きながら、2017 年度は群馬県高崎市の鳴沢湖や長野県松本市の美鈴湖等でスタート。2 年度目の 2018 年度からは全国 7 団体へと展開しました。

この事業は、ワカサギ卵供給にかかる初期設備（ふ化施設等）一式の物納支援という形で、各都道府県の水産試験場等の研究機関等と連携しながら推進していきます。

2018 年度に物納支援を行った団体からは、すでに地場産ワカサギ親魚の採捕や、それによる他水域へのワカサギ受精卵の販売・供給等が実施され、順調な滑り出しを見せています。これによって、ワカサギ釣り場の安定化や、新たなワカサギ釣り場創設といった地域のニーズに対し、国や研究機関、漁業者団体等が周知広報し、そして釣り界が支援する、という形となります。

水産庁後援名義使用許諾 文書



ワカサギに学ぶ会



「第 23 回ワカサギに学ぶ会」へ参加し、本事業をご説明する機会をいただきました。

7団体

2017 年度

- 001：群馬県 鳴沢湖
- 002：長野県 美鈴湖 / 小花見池

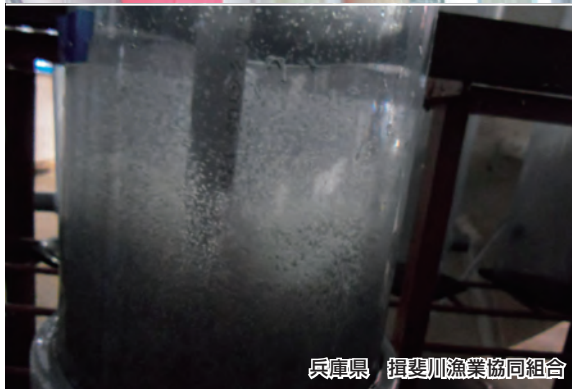
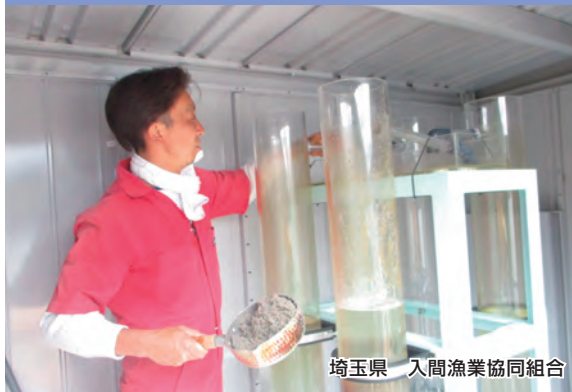
2018 年度

- 003：埼玉県 名栗湖
- 004：千葉県 高滝湖
- 005：兵庫県 音水湖
- 006：茨城県 霞ヶ浦
- 007：群馬県 梅田湖
- 008：島根県 尾原ダム湖
- 009：山梨県 河口湖

水産庁後援事業 内水面釣り場拡大（ワカサギ）

LOVE BLUE 事業では、誰でも手軽に楽しめて美味しく食べられるワカサギの釣り場を各地へ増やす為、水産庁後援事業として、各地の専門機関や漁業協同組合等と連携し、ワカサギ増殖施設を寄贈しています。

2018年度 採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設



SDGs(持続可能な開発目標)と LOVE BLUE 事業

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、今後の世界のビジョンを示し、経済活動を大きく変えていく「道しるべ」となっています。

SDGsは国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

日本では、「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」(本部長：内閣総理大臣)が2016年5月に設置されました。同年12月には、「SDGs実施指針」が策定され、国が民間企業も含めたあらゆるステークホルダーの取組を後押しすることが示されています。

産業界でもSDGsを受け止めた動きが始まっています。日本経済団体連合会では、2017年11月に、会員企業に向けた行動指針「企業行動憲章」にSDGsの理念を取り入れた改定を行いました。改定の主なポイントは、SDGsに示されている社会的課題の解決に企業も積極的に取り組むことを促していることであり、会員企業が自社だけでなく多様な組織との協働を通じて、持続可能社会の実現に向けて行動することを推奨しています。

SDGsの目標14は、「海の豊かさを守ろう」です。具体的には「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」とされています。とりわけ海洋プラスチックごみの問題などは喫緊の課題です。

つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業が進めてきた取り組みは、2018年度もこれまでの実績を基に、政府主催行事への参加や全国豊かな海づくり大会への参画など、積極的な活動を展開してきました。今後はSDGsへの貢献の意義も含めてますますその役割の重要性が増していくと思われれます。これからの活動に一層の期待を寄せています。



京都大学名誉教授
松下和夫

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報(水中クリーンアップ活動等)を配信しています。

公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。



ぜひご覧ください。

FACEBOOK LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE
FACEBOOK



LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE HP
<http://www.loveblue.jp/>

